

平成26年 第8回 教育委員会定例会議事録

招集日時 平成26年5月19日(月曜日) 午後1時半開会/午後2時55分閉会
招集場所 加賀市市民会館2階 第1会議室
出席委員 上田政憲、酒谷百合子、畑中直子、中西修一、山下修平
会議列席者 掛山事務局長、網谷次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、西出生涯学習課長、中田スポーツ課長、田嶋文化財保護課長、矢嶋中央図書館長、柏田山中図書館長、米屋教育庶務課長補佐

上田委員長 平成26年第8回教育委員会定例会開会宣言

挨拶

審議事項に入りたいと思いますが、一つだけ提案がございます。審議事項の4番目、議案第40号「平成26年度6月補正予算要求について」、これは予算案件のため非公開とさせていただきたいと思いますが、ご了解いただけますでしょうか。

全委員 異議なし。

上田委員長 それでは、議案第40号は非公開といたしますので、傍聴の方はご退席をお願いいたします。

審議事項に入りたいと思います。議案第37号について、これは昨年度12月の定例会において継続審議となって、その後何度か検討会を開いてまいりました。文科省の配慮事項の中に、各学校の結果の公表については、教育的な配慮をするようにとあります。言われなくても当然なわけですが、私どもは公表することによって、子ども達と保護者がどういう影響を被るかを第一に考えてきたわけですので、そのための検討を重ねてきたわけでございます。その辺りも含めまして、そろそろ結論を出す時期にきたのかなと思います。これから発表していただきます事務局の原案について、委員の皆様方には慎重にそれぞれのお考えを、反対、賛成、いろんなご意見があつて当然だと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。それでは、網谷次長お願いします。

■ 議案第37号 全国学力・学習状況調査の結果の公表について 網谷次長 資料に基づき説明

上田委員長 ただ今、網谷次長から全国学力・学習状況調査の結果の公表について、教育委員会事務局としての考えを提示していただきました。大きく番号で1番、2番、3番、4番と見たときに、加賀市教育委員会としての公表の仕方として1番と2番、それから学校が保護者に対して公表することを述べた3番、4番は、平成26年度からということで問題ないと思いますので、1番と2番をあわせて、3番は別に採決を採りたいと思います。まず、1番と2番につきまして、賛成でも反対でも結構ですので、ご意見がございましたらお願ひしたいと思います。いかがでしょうか。

1番は加賀市全体の平均正答率を、全国、石川県と比較して公表する。2番は学校別の平均正答率は公表しない、というふうにとまとめることができると思いますが、先

ほど説明がございましたように、加賀市の場合は規模の非常に小さい学校、1学年に1クラスの学校が多いわけですので、学校別の一覧を公表することはやはり序列化に繋がったり、影響が非常に大きいような気がしております。

ご意見がないようですので、採決をしてもよろしいでしょうか。

それでは、1番と2番をまとめまして、この案に賛成の方は挙手をお願いいたします。

全委員 全員挙手

上田委員長 ありがとうございます。全員賛成で決定いたします。

それでは、3番についてです。3番は、各学校は自校の結果を保護者に公表するように教育委員会が指導する。指導に基づき、学力向上に関する便りを作成し、保護者に周知するというのが事務局の案でございますけども、これについてご意見をお願いしたいと思いますが、細かく(1)(2)(3)(4)がございます。どれでも結構でございます。はい、畑中委員。

畑中委員 「(4)調査対象が少人数の場合の配慮」ですが、この間の勉強会では、校長先生の考え次第で公表したり、しなかったりというのがあったと思うんですけど、校長先生が変わるごとに方針が変わりうるということですか。

網谷次長 前回の勉強会のときには、校長先生が公表すると判断した場合については、公表してもよいと書いてあったと思います。それについてはここに書いてございませんが、それぞれの学校の実情がありますので、10名以下は絶対だめと言い切るのも、せっかく頑張ってきた取り組みでもありますので、そこは校長先生の判断に委ねたいと思います。ここには明記しませんでしたけど、それも有り得るということは内々で了解していきたいと思います。やはり書いた方がよろしいでしょうか。

掛山局長 補足ですけども、校長先生の判断に委ねるという考えももちろんあるんですけども、畑中委員がおっしゃるとおり、校長先生が変わる度にその学校の方針が変わるというのもいささか問題だという意図もございまして、その文言はあえてここには記載しない方がいいだろうという思いで案を作っております。

上田委員長 ただいまのお答えでよろしいでしょうか。

畑中委員 はい。

上田委員長 明記はしない。基本的にはこの文章のとおりということで、校長に任すことはしない方がいいのかもしれないね。他に何かございせんか。はい、酒谷委員。

酒谷委員 3番の「指導に基づき『学力向上に関する便り』を作成し」とございますが、この便りというのは各学校によって様式は違って来るんですか。それとも、加賀市全体で同じようなものを作成して保護者に周知するんですか。

網谷次長 加賀市教育委員会事務局としましては、学校便りではなくて、学力向上に関する便りをそれぞれの学校が作成する。その作成される学校からの便りというのは、ある程度統一されたものを市教委では指導していきたいと思っております。(1)に書いてございますが、学力調査の結果については5段階で示していくということ、要するに国、県、自分の学校の比較を5段階で示すこと、その設問から見えてくる課題や成果、優れた点を示していきます。それから、生活習慣や学習環境など良好なもの、課題の見られるものについても、要するに(2)、このような内容で書いてくださいと

ということです。それから(3)については、その調査の結果を踏まえて、今後学校でどのような取り組みをしていくのか。例えば基礎基本の定着についてはどうなのか、活用力の向上についてはどうなのか、また、子ども達の生活習慣や学習環境についてはどうなのか、そういった学校での取り組みを記入し、知らせるものとしたします。また、学校だけでは当然学力向上の、または生活改善の取り組みは進みませんので、その際に家庭にお願いしたいことなども書いて、学校と保護者が協力して児童生徒の学力向上に努めてまいりたいと思っております。

上田委員長 学力向上に関するというのは、委員会が指導するわけですので、様式は必要なことをきちんと網羅したものを委員会が作成するというところでございます。他に何かございせんか。はい、中西委員。

中西委員 加賀市の場合、今からの改善策が一番重要だと思うんですけど、どの辺まで踏み込んだというか、人もお金も含めた改善策を公表して出していくのか。

網谷次長 加賀市としての改善策ですね。

中西委員 加賀市としてです。

網谷次長 はい。学力調査の結果がまいりまして、昨年もそうなんですけど、成果の上がっているところ、それから今一つ成果が上がらなかったところ、特に成果の上がらなかったところについては、私ども事務局の担当が学校に出向いて、それぞれ加賀市教育委員会としての指導内容や分析の結果等も含めまして学校にお知らせいたしますし、学校も学校なりの改善策を示してもらいながら、それぞれの学校の実情に応じた改善策について個別ごとの助言にあたってまいります。また、加賀市全体といたしましては、例えば、教職員の学力向上に関する意識改革という部分については、小中学校どこも同じレベルからさらに上のレベルに引き上げるための全体研修、または講演会を通じて、昨年は学級経営に関するものに絞って講演会を開催いたしましたし、今年度予定しているのは、学級経営の中でも子どもと先生がきれいな日本語を使って、そういったところから心の醸成も含めまして学級経営の中にも丁寧な言葉遣いによる授業をやっていこうという、学級経営にもう少し踏み込んだ部分についても研修会をする予定です。中学校におきましては、今年度予算をとりまして、県などの研究指定校にあたっていない学校については、大学の先生に直接その学校に入らせていただきまして、職員会議や職員研修会の場で、直接そういった専門家からアドバイスを受けて、指導改善にあたってもらうという取り組みも予定しております。こういった内容を今年度は予算化をしまして取り組んでおりますし、来年度に向けましては、これはまだ事務局で計画中なんですけれども、各学校が学力向上するために、例えば人的な支援を必要としているのであれば、そういったことも予算化するなり、具体的に学校ごとの支援策を今後は事務局として示していくことで、その改善策を示しながら指導にあたっていきたいと考えております。

上田委員長 よろしいでしょうか。

中西委員 はい。

上田委員長 他にございますか。はい、酒谷委員。

酒谷委員 はい。質問じゃないんですけども、学校側がこのように各保護者に周知するよう

にしますけども、学校ばかりではなく、保護者の方もそれを見られてご家庭でどのようにしたら改善できるのかということと一緒に考えていただければいいのかなと思います。

上田委員長

他に何かございませんか。

概ね賛成意見の方が多いようですが、そろそろ採決を採ってもよろしいでしょうか。それでは、3番目の「加賀市教育委員会は、各学校に対して自校の結果を保護者に公表するよう指導する。各学校は、指導に基づき『学力向上に関する便り』を作成し、保護者に周知する。」以下省略いたしますが、賛成の方は挙手をお願いいたします。

全委員

全員挙手

上田委員長

ありがとうございます。全員一致でございます。4番目は全数調査になってから2年目になるわけですね。これからも全数調査が続くという前提の下に書かれたものだと思います。これについても一応採決を採りましょう。

「全国学力・学習状況調査の結果の公表は、平成26年度から実施する。」賛成の方は挙手をお願いします。

全委員

全員挙手

上田委員長

ありがとうございます。以上で全国学力・学習状況調査の結果の公表について、4件とも全員一致で可決されました。よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、2番目の議題に移りたいと思ひます。議案第38号について、中田課長お願ひします。

■ 議案第38号 加賀温泉郷マラソンの検証結果について
中田課長 資料に基づき説明

上田委員長

ただ今、中田課長から第1回の加賀温泉郷マラソンの検証を行って、再開に向けた課題を探っているという報告をいただきました。これにつきまして、お聞きになりたいことがございましたら何でもお願ひします。はい、酒谷委員。

酒谷委員

アンケートの調査なんですけど、回答率52%というのはどのようなものなんでしょうか。配布数268団体、うち回答数140件、回収率約52%ですね。

中田課長

これは、あくまでも強制的に行っておりませんので、268という団体が適正であるかどうかというのもあるんですけども、140件という件数につきましては、少ないとは思っておりません。あくまでも特に必要と申しますか、今回どうしても率直なご意見をお聞きしたかった、コース沿道の区長さまですとか、あとは旅館関係の方々から回答いただいておりますので、重要な資料になったと思っております。

上田委員長

他に何かございませんか。はい、中西委員。

中西委員

コースのことについてなんですけど、加賀市は真ん中を8号線が分断するように突き抜けておりますけども、山コース・海コースという2つのコースを設けるようなことは考えてないんですか。

上田委員長

はい、中田課長。

中田課長

中西委員がおっしゃるように、私の個人的な構想の中には、山コース・海コースと

というのは本当にあったんですけども、そういうことをすると、3回連続来ていただくとか、2回連続来ていただくというような誘客、継続して参加していただくことに繋がるかと思えますけれども、やはりそういう方ばかりとは言えませんので、1日に贅沢なマラソンをぜひ体験していただきたいと、全国にもこういう温泉を利用した、観光地をたくさん巡るとい大会は希少ですので、贅沢なというか、参加者にとって非常に内容のあるコースにしたいというふうに考えております。

上田委員長 やはり再開するにはそれなりのきちんとした検証が必要だと思いますが、他にお聞きになりたいことはございませんか。はい、畑中委員。

畑中委員 マラソン大会について、市長との協議はされているのですか。

掛山局長 市長との協議はまだ終わっておりません。この内容を教育委員会の検証結果として市長協議の資料としてもよろしいですかとご承認をいただいたうえで、市長と協議を重ねて、議会と協議をさせていただいて、再開するか、しないかをそちらの方で決定していただきたいと思っております。今日、もしも委員会で、この資料でいいですよというご判断をいただければ、早速、市長協議を開始したいと思っております。

上田委員長 結果を受けて、市長と協議するということですね。

掛山局長 はい。

畑中委員 それから、文化課の事業は市長部局になりましたね。マラソンなんかは本当に観光が絡んでいるので、もし再開となったときに市長部局がするということはあるのでしょうか。

掛山局長 開催にあたっては、中田課長から説明がありましたように、推進体制を強化しないといけないという、これはアンケート結果にも出ているんですけども、従前のように教育委員会スポーツ課中心の大会でいいのかというのがこの大きな課題です。それも踏まえて市を挙げての大会にすべきだというのが、このアンケート結果だというふうに私どもは事務局として認識しております。それをもって市長協議にあたりたいというふうに考えております。

上田委員長 アンケートの結果からも推進体制の強化が必要だととれるようです。他に何かございませんか。はい、中西委員。

中西委員 多くの税金が投入されているということなんですけども、再開に向けて恐らく何らかのコストカットというのは避けて通れないと思うんですけども、大体何%ぐらいのコストカットが必要で、それに対してボランティアスタッフが何名いるとか具体的な数は現時点で出ているんですか。

中田課長 まずコースが決まらないとガラッと変わりますもので、今日の結果を踏まえて協議をした結果、再開になった暁には、まずコースを決めてからになりますので、現在のところは出ておりません。申し訳ございません。

上田委員長 コースの決定後に決まるので、この辺りは難しい部分がありますね。

中西委員 はい。

上田委員長 この資料を基に市長協議になるので、検証した結果としてはこれでよろしいかどうかということですが、他にございませんか。

38年続いた日本海マラソンを引き継いで、第1回加賀温泉郷マラソンを実施したわけですが、コースが大幅に変わったことや、8号線の問題があって、大幅な経費が必要になったこと、その他いろんなデメリットがあったわけですね。その辺りをきちんと検証されていると思います。これで加賀温泉郷マラソンの検証結果として承認してもよろしいでしょうか。ご承認なさる方は挙手をお願いします。

全委員

全員挙手

上田委員長

ありがとうございます。では、次に参ります。議案第39号について、田嶋課長お願いします。

■ 議案第39号 加賀市の文化財指定に関する加賀市文化財保護審議会への諮問について

田嶋課長 資料に基づき説明

上田委員長

ただ今、ご説明をいただきました。大聖寺の関所跡、これはごく最近新しいものを建てられたと思うのですが、これを文化財保護審議会へ諮問していいかということですが、何かお聞きになりたいことはありますか。はい、畑中委員。

畑中委員

ただの興味なんですけど、関門というのは現在の地図だとどこからでも通り抜けるじゃないですか。昔は関の周りの他の道というのは、ぐるっと囲まれていたのでしょうか。閉じられていたのでしょうか。

田嶋課長

もちろん道はここだけじゃなくていくらでもあるんです。その道を知っているのは地元の人です。旅人といいますのは、例えば東海道とか整備されている街道を通るところには箱根の関とか新居の関とかが置かれている。他所から来た人は他の道へ入ってしまうとわからなくなってしまうので、そこしかわからないんですね。実際に関所の部分というのは、ある程度見通しの良い部分、この大聖寺関で言うと、大聖寺の町から見て今出町側というのは基本的に真っ直ぐな道で、見通しを良くしてあるんです。ですから、そこまで来て横に入ったら、関所の番人が見えて、「あいつは怪しい」ということで追いかけます。そのために門をですね、いわゆる柵門という板が張っていない格子だけのもので、格子も真ん中だけを広げてありまして、見通しのいいようにしてあります。他所から来た土地に不案内の人にとっては、他の道に入ることはまずできなかったと思います。

上田委員長

今は時代が違いますからね。

酒谷委員

写真のところですよ。

上田委員長

復元したものと比べて、昔は関所が大きかったんでしょうね。

田嶋課長

復元した柵門は元と同じ寸法で作られているんですが、この道路に門がありまして、塀があって、西側の道路の横に今回の指定候補の番所があったところがあります。その番所の反対側、向かい側に下番所というのがありまして、こちらは女性を専門に調べたりする番所がありました。もう一つは足軽の詰所ですね。それも下番所のところにあったということで、もちろん面積は今のその部分だけではなくて、反対側の下番所も含めると、ある程度の面積があったと思います。

上田委員長 他に何かございますか。はい、教育長。

山下教育長 復元されたとき、ちょうど私が錦城中学校の校長をしていたときなんですけど、10ページの写真を見ていただくとわかるんですけど、この後ろ側ですね、この空き地は個人の所有物らしいんですけど、文化財に指定されるのはこれだけなんですけど、この後ろがせっかく指定されたとしても結構雑草が生えるんですね。そのときに瀬戸さんからお願いがあったのが、ここの草刈りを錦城中学校が協力してくれないかということで、じゃあボランティア委員会がやりましょうということでセレモニーのときにも生徒会の代表が2名出まして、一緒に今後そういうことを続けていくと約束して、多分今も続けてやっているといます。今はきれいになっていますけど、この写真はいつ撮られたものかわかりませんが、ひどいときはかなり草がぼうぼうになるんですね。せっかくこれが文化財に指定されたとしても、その後ろがそんな状態ですとちょっとみっともないかと思うので、これからは錦城中学校にお願いをするのなら、そうやって定期的に委員会のボランティア活動でやっていただいたらどうかと感じます。当初、私がそれを請け負ったので、今も校長は変わりましたが、今も続けてもらっているんです。そういうことです。

田嶋課長 教育長さんがおっしゃったように、その辺りも瀬戸さんに確認しております。継続してボランティアで錦城中学校の生徒さんにしていただいているということで、これからもそこは続けていきたい。それと、その後ろの土地は元々番所の土地ではないんですが、こちらについても瀬戸さんがNPOで取得を検討しているというお話でございまして、一体的な管理を考えていらっしゃるんだろうと思います。

上田委員長 わかりました。それでは、採決を採りたいと思います。賛成の方は挙手をお願いします。

全委員 全員挙手

上田委員長 ありがとうございます。

田嶋課長 すみません。報道の方がいらっしゃいますので、お願いがございまして、これはいくまでもお諮りするかどうかの審議でございまして、指定になる、ならないにつきましてはまたご通知させていただきます。よろしくお願いいいたします。

上田委員長 それでは、議案第39号まで終わりました。議案第40号は、冒頭に申し上げましたように予算案件のために非公開とさせていただきますので、傍聴の方は退席をお願いいたします。

■ 議案第40号 平成26年度6月補正予算要求について（非公開）
梶谷課長 田嶋課長 資料に基づき説明

上田委員長 補正予算の内容についてご説明がございましたが、お聞きになりたいことはございませんか。

梶谷課長 1番と2番と4番は、消費税8%はもう関係ないんですか。

上田委員長 ほぼ1割弱ですね。これはもうしょうがないですね。では、採決をとりたいと思いま

す。ご承認される方は挙手をお願いします。

全委員 全員挙手

上田委員長 ありがとうございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。
それでは、報告案件に入りたいと思ひます。報告第17号について、柏田山中図書館長お願ひします。

■ 報告第17号 加賀市立図書館の休館日・開館時間の変更について
柏田山中図書館長 資料に基づき説明

上田委員長 これは前回は休館日、開館日、あるいは開館時間の変更がありました、変更はないんですか。

柏田図書館長 はい。2月の定例会で審議いたしました通りで、施行が6月になったことを改めて報告させていただくということでございます。

上田委員長 わかりました。これにつきまして、特にございませつか。
6月から変更ということで、よろしくお願ひいたします。次に参ります。報告第18号について、中田課長お願ひします。

■ 報告第18号 夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会の開催について
中田課長 資料に基づき説明

上田委員長 ラジオ体操の取り組みについては聞いておりますけども、何かございませつか。はい、酒谷委員。

酒谷委員 NHKのラジオ生放送は、こちらから要請するものなんですか。

中田課長 こちらから要請したそうです。私は4月からのものですから、申し訳ございませつか。ちなみに昨年は小松会場でした。

山下教育長 これは小中学校への動員もかけると書いてありますけど、どうかたちで動員するんですか。

中田課長 まず、通常されている愛好者方の大体の目安ができ次第だと思ひているんですけども、基本的には小中学生の場合は送り迎えが必要になるかと思ひますので、バス等を出せるのか検討しながら動員するのか、自由参加にするかを決めていきたいと思ひております。

掛山局長 まだその辺は未定ですか。

中田課長 はい。

山下教育長 先ほど愛好者が2,000人ほどと言われたと思ひますけど、それだけ本当に加賀市内にいるんですか。

中田課長 各地区に調査いたしまして、そういう団体というか、地区に集まってされている方の人数を大体把握したところ、2,000人という数が出ております。

酒谷委員 小松のポスターが出ておりますけど、このポスターは加賀市内で作成するんですか。その費用はどこからですか。

中田課長 簡保生命さんが主催なんですけれども、そちらで3,000枚はご用意いただきます。ただ、必要に応じて版下をいただきまして、うちの方で増刷するかしらないかを今後検討したいというふうに思っております。

中西委員 この時期というのは夏休みになるんですけども、僕らの町は子ども会で毎朝ラジオ体操をしていますが、子ども会の動員とかは考えてないんですか。

中田課長 それも含めて先ほどのお答えと一緒に、まず、大人の方がどれくらいの人数かわかって、やはり子ども達にお願いしなければならないかなという段には、子ども会の方にも依頼をかけようと思っております。

上田委員長 やはり子どもがいないとなかなか、という部分がありますけどね。

中田課長 当然夏休みですので、お父さんお母さんと一緒に参加いただくということは想定しております。その日もハンコは押しますので、呼びかけはしたいと思っております。

上田委員長 他にお聞きになりたいことはございませんか。せっかくの機会ですからね。

掛山局長 皆さんもどうぞご参加ください。

上田委員長 はい。では、次に参ります。報告第19号について、西出課長お願いします。

■ 報告第19号 加賀市文化会館の耐震補強工事に伴う休館について
西出課長 資料に基づき説明

上田委員長 かなり長期にわたりますので、教育委員会関連の行事もいくつかあるんじゃないですか。

西出課長 うちの方は学校の夏期講習があるんですけども、以前からわかっていましたので、山中の文化会館に移動していただいております。それから、他の団体で毎年恒例で行っているものもあるんですけども、それも時期を前半に持ってきたり、あるいは他の場所ですでいただきます。3月の議会が終わってすぐに、この期間に休館するという事は通知しております。

上田委員長 それも致し方のないことですね。関連した行事もいくつかあると思いますので、他の課もこの辺りをご注意いただいて、配慮をお願いしたいと思います。報告案件は以上で終わりですので、その他に参ります。その他(1)について、網谷次長お願いします。

■ その他(1) 計画訪問の日程確認について
網谷次長 資料に基づき説明

上田委員長 その他何かありますか。

山下教育長 前回の教育委員会の場で、教育委員会制度についてちょっとお話ししたかと思えます。そのときに、私が教育長会議で金沢市に行ったときに金沢市の野口教育長さんから聞いたのは、私の任期は4月1日から平成29年11月21日までであるから、そこまでは旧制度でいくというお話をしましたが、前回の石川県市町教育委員会の総会でしたか、あの中で講演をお聞きしたら、ちょっと話の内容が違うなということで田

上田委員長 邊会長さんにもう一度そこを確認しましたら、加賀市の場合は11月21日で上田委員長さんの任期が切れますね。そして新たにどなたがなられるか、もう1年そこからありますね。その来年の11月21日で新教育委員会制度に移行するという話でした。

山下教育長 委員長の任期は1年ですから。

掛山局長 教育長の任期は来年の4月1日から施行ですけど、加賀市の場合ですと、今年の11月に新委員長が任命されて、来年の11月21日まで任期がありますから、その期間は旧制度でいく。そして、その時点で新制度に変わるという説明でした。新・教育長の任期は、来年の11月21日から残任期間ということだそうです。私が聞いた話では、加賀市は約4年間旧制度でいくということでしたが、どうも違うみたいで、ただ、教育長の任期がそこから3年なのか、継続なのかははっきりしていないということでしたので、訂正しておきます。

酒谷委員 3日ほど前に衆議院を通過したもので、教育庶務課の方で法律の内容を調べさせていますので、それが出ましたらまたお知らせします。委員会制度が変わるのは間違いなく、決定したということなので。

掛山局長 いつからですか。

山下教育長 来年の4月1日からです。

酒谷委員 全国的にはそこからですけども、任期の途中の場合は任期の切れた時点です。

掛山局長 でも、加賀市の委員長さんの任期は11月21日に変わりはないんですか。

酒谷委員 委員長自体がなくなりますから。

掛山局長 教育長さんは。

上田委員長 3年という任期の制度が11月21日に施行になるのかは、今はまだちょっと不明だということですよ。そこは今確認してもらっています。

梶谷課長 他にございませんか。次回は6月20日でしたね。

上田委員長 次回は6月20日金曜日の午後3時、場所は第7会議室です。

上田委員長 以上で、第8回加賀市教育委員会定例会を終わります。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。